

参考値

福島第一 2号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果

(データ集約：8/30)

採取場所	2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル開口部下部)		2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル開口部中央)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度) ²
試料採取日時刻	平成23年8月29日 10時35分～11時35分		平成23年8月29日 12時20分～13時20分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	9.6E-04	0.48	1.5E-03	0.75	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.0E-03	0.33	1.6E-03	0.53	3E-03

1 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 1 0⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

2 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

3 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表3核種の検出限界値は次のとおり。

揮発性のI-131が約8E-6Bq/cm³

粒子状のI-131が約1E-5Bq/cm³

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。